

平成11年度企画展

会期 平成11年11月13日～20日

「ならはの絵馬」—村人の祈り の開催にあたって

科学技術の発達の著しい現代にあっても、願いを込め、絵馬を奉納した経験をもつ人は多いのではないのでしょうか。人は常にいろいろな悩みや願望を持っており、信仰のかたちを変えながらも現代も受け継がれています。

絵馬の歴史は古く、その昔、馬は神の乗り物として崇められ、生馬を神へ献上したのが、のちに絵馬になる始まりといわれます。祈願の内容が多種多様で、その絵柄もバラエティーに富むようになったのは江戸時代になってからといわれます。

先祖の生活を語るように信仰の中で育った絵馬は、美術的にも優れたものが多く、村人のさまざまな「祈りの表現」を鑑賞することができます。

これらの絵馬は奉納される場所が限られており、社殿の奥や、また梁に掲げられ、釘づけされて門外不出の状態でしたので、なかなか一般の人の目に触れることができませんでした。この企画展によって多くの方に、町の文化財を再認識する機会を提供できれば幸いです。

最後に所有者の方々の理解ある特段のご協力によって、屋外に搬出することができ、一堂に展示することができました事に、深く感謝を申し上げます。

平成11年11月

梶葉町歴史資料館

館長 関根和弘